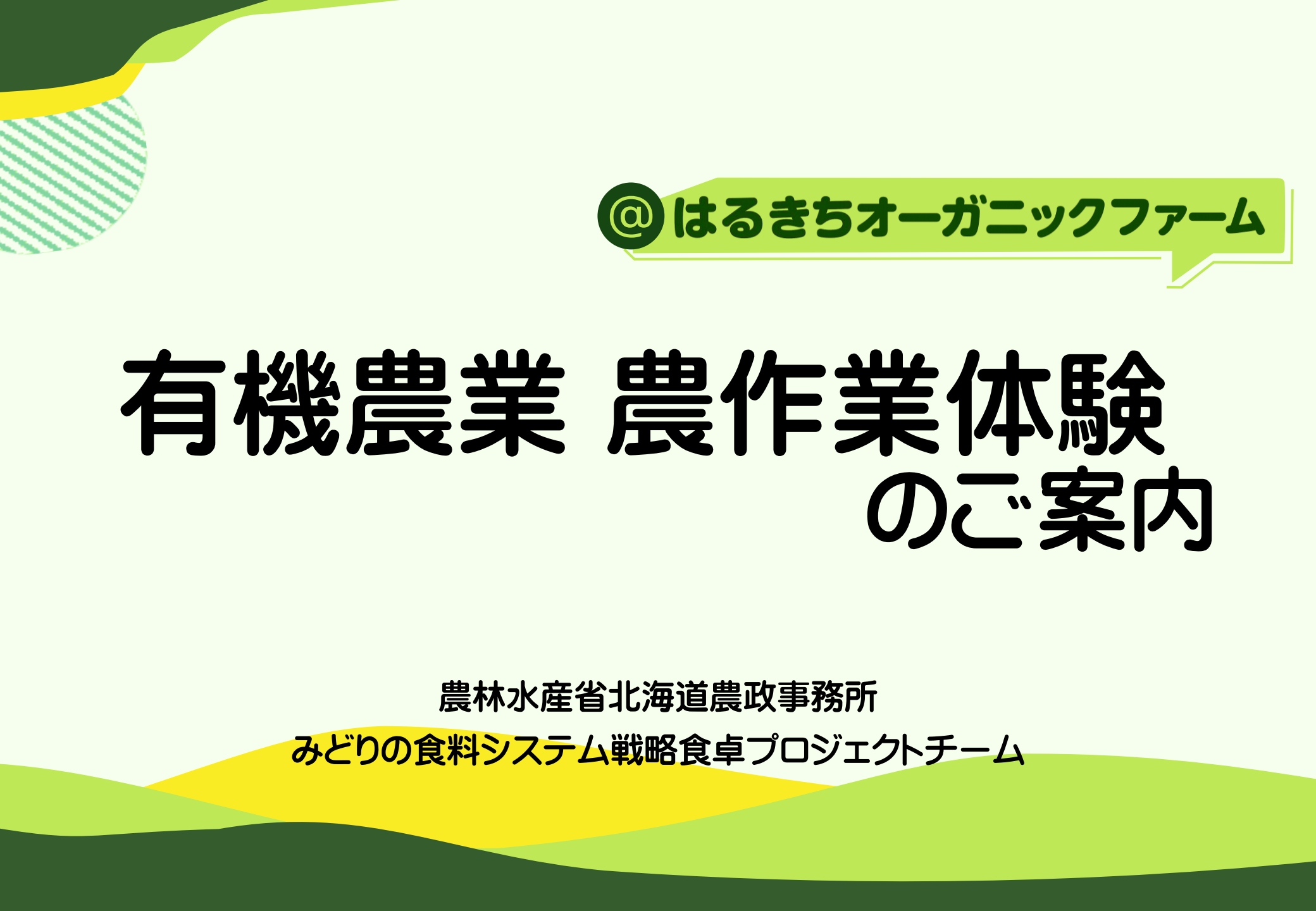




@ はるきちオーガニックファーム

有機農業 農作業体験 のご案内

農林水産省北海道農政事務所
みどりの食料システム戦略食卓プロジェクトチーム

いま、「食」に危機が訪れています

最近よく耳にする異常気象や自然災害。

その影響は、実は私たちの身近な「食」にも大きな影響を与えています。

たとえば、

🌱 高温によるトマトの生育不良（肥大不足・裂果）の発生

🌱 乳牛の夏バテによる健康不良や乳量の減少

🌱 水稻の品質低下（白未熟粒の発生）

etc…



未来の「食」を守るために

このままでは、
私たちの豊かな「食」が、
当たり前ではなくなるかもしれません。

だからこそ、
未来の「食」を守るため、農林水産省は令和3年5月に、
「みどりの食料システム戦略」を策定しました。



「みどりの食料システム戦略」とは

私たちの「食」は、
[調達][生産][加工・流通][消費]といった、各段階に関わる人の「繋がり」によって成り立っています。
この一連の「繋がり」を「食料システム」と呼んでいます。



「みどりの食料システム戦略」は、

この「食料システム」の関係者が一体となって、
環境への負荷の低減に取り組むことで、

農林漁業・食品産業の持続的な発展等に結び付け、

食を持続可能なものへと転換していくことを
目指しています。

環境にやさしい農業等への転換

「みどりの食料システム戦略」では、「2050年までに目指すべき姿と取組方向」として、14のKPIと最終目標を定めています。

そのうち、「環境保全」では

- 化学農薬使用量(リスク換算)を50%低減
- 化学肥料使用量を50%低減
- 耕地面積に占める有機農業面積を25%(100万ha)に拡大**

などの目標を設定しています。

これらの目標達成によって「環境にやさしい農業等」の実現を目指しています。



期待される有機農業。一方で…

「有機農業」とは、

化学合成農薬や化学肥料、遺伝子組換え技術を使わずに、
環境への負荷をできるだけ減らして行う農業のことです。

「有機農業」はいま、持続可能な農業として国内外で期待されています。
そんな「有機農業」に取り組む農家さんが、全国でも少しずつ増えています。

しかし一方で、課題もあります。



有機農業の課題と求められるもの

統計調査によると、消費者がもつ有機農産物へのイメージは、

「価格が高い」「安全」「安心」が主です。

有機農業が「環境に配慮したもの」であるという

本来の価値がまだ十分浸透していない現状があります。

有機農業の価値はなにか。なぜ取り組む必要があるのか。

有機農産物の消費拡大には、こうした理解の拡がりが求められています。



だからこそ、体験してほしい

有機農業の理解を広げていくために、何ができるか。

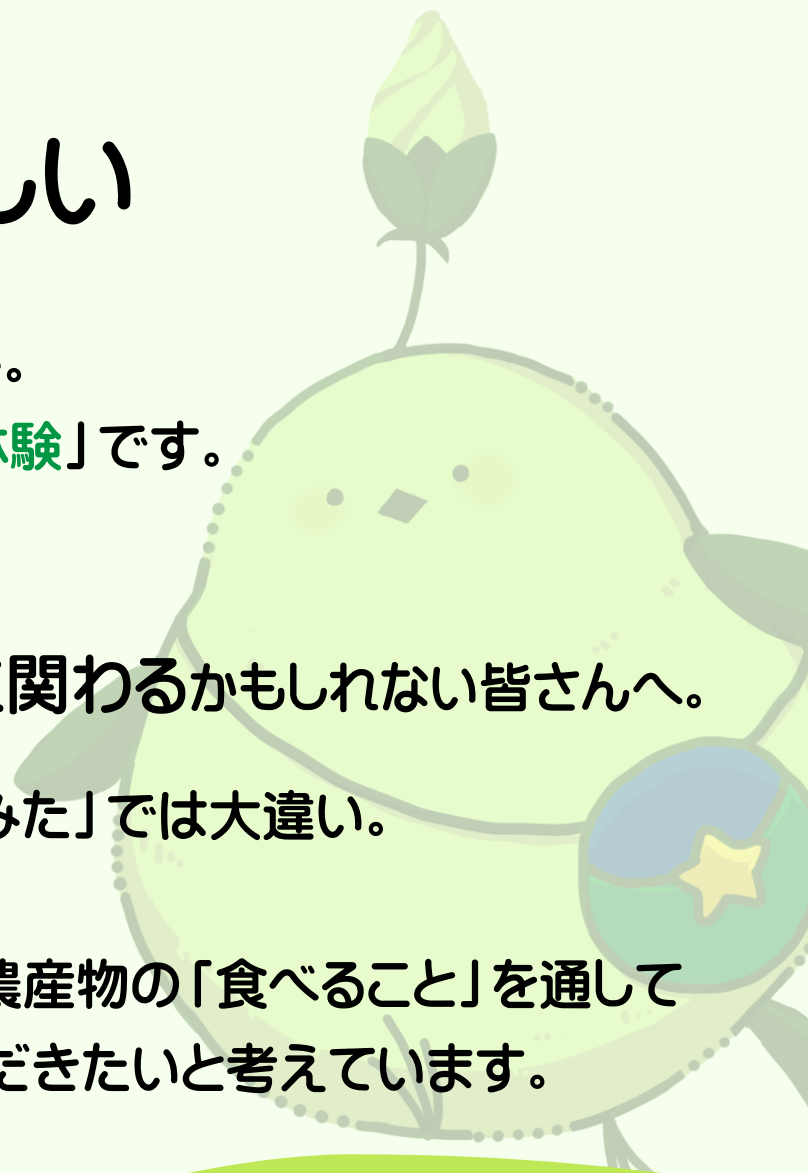
思いついたのが、皆さんへの「**有機農業の農作業体験**」です。

「食料システム」の「消費」に関わる皆さんへ。

そして、今後「調達」「生産」「加工・流通」に関わるかもしれない皆さんへ。

有機農業の価値を「知っている」と「体験(や)ってみた」では大違い。

有機農家さんとの対話や農作業体験、そして有機農産物の「食べること」を通して
ここでしか手に入らないたくさんの学びを得ていただきたいと考えています。



農作業体験のご案内

【開催日時】令和8年9月25日(金) 9:00~16:45

【1日の流れ】 9:00 集合「JR札幌駅北口」

10:30 農作業開始

12:00 昼食及び意見交換

13:30 農作業再開

15:00 農作業終了 & 片付け

15:45 農家出発

16:45 解散「JR札幌駅北口」

【受入農家】はるきちオーガニックファーム(石狩市)

【お知らせ】後日、事後学習として農作業体験の振返りをを行います(日時未定)

【留意事項】

- 当日は借り上げバスで移動します。
- 軍手、長靴はこちらで準備します。
- 汚れてもいい服装でお越し下さい。
- HPに掲載している開催・募集要領もご確認ください。



ぜひ申込をお待ちしています

申込はこちらから



(<https://forms.cloud.microsoft/r/gXftTEABpj>)

